共に生きる
ウィズ広島ｎｅｔ＝互縁

News Letter／2021.8 NO.43

WH+
更生保護法人 ウィズ広島
〒730-0822 広島市中区吉島東1−1−18
TEL&FAX 082-241-1534
http://www.with-hiroshima.com
E-mail kouseihogo@with-hiroshima.com

受け入れがたい現実

山 田 勘 一
更生保護法人ウィズ広島 理事長

コロナ時代が長引き、人々の間に鬱屈した気持ちが漂っています。ある日届いた書類を手にして、虚しさがこみ上げてきました。「前年度の支出は予算に比べて大きく減りました。それは、2回の研修をコロナ禍で中止し、会議はオンラインにし、また監事には帳簿等の写しを送って監査を願い…」。これでは会議の親しい人々の顔が浮かび上がってきません。親しい友人に会わない、帰省しない、旅行に行かないという現実に記憶が遠のき消えていくように、コロナに奪われた日常にいまさらながら慄然としています。

退所して12年になる人が、さいきん頻繁に電話をくれ、訪ねてきます。その姿に彼女の停滞感を感じながら、次の日きたとき、そのことに触れると、何故かしらあの日はいらいらしていましたねと笑っていました。人と人が、顔を合わせて交流することの少ない日常に、ここでもまた、コロナ禍の傷痕を知るのです。

退所した人がいいます。「親と暮らした○○に帰ってみたいです。…47年も前になります。ウィズに行けば、(それらの思い出を) 堰を切った様に話す自分を見つけます…」。その人にとって、あの喫茶店でコーヒーを飲みながらオーナーとよく話したという思い出は生きているかぎり消えないでしょう。コロナ自粛という現実でも奪えないのは、記憶のなかに潜む思い出、物語だと思います。でもあの人の顔、言葉、そのつながりが薄らぐと、小さな島の秘密警察の記憶狩りに遭ったように、いずれは降る雪のなかに消滅していくのでしょうか（『密やかな結晶』、小川洋子、講談社文庫 1998年)。

今、更生保護施設は、退所した人に支援の手を大きく差し延べようとしています。今年10月、新たに訪問等支援を実施する予定ですが、そのとき大切なのは退所の前と後をつないだ信頼関係であり、その記憶がよびおこされることでしょう。

今、施設に在所している人もいずれは退所していきます。そのことを考えると、在所中から訪問等支援のなかに包摂していく日常があって、退所後の訪問等支援は成り立つように思います。また、コロナ禍の影響で中止し、再開し、あるいは退所者重視、在所者重視に揺れるお茶カフェ、カフェシアター、ロスカフェ、実施回数が寂しくなっていくSST、コラージュ作成会の現実を見ると、心もとなく感じます。

そのようなおり、ひとりの友人が更生保護の現役を離れるといいます。コロナ禍で会うこともなく2年が経ち、またひとり私の記憶から消えていくのでしょうか、梅雨空のもとに小さな睡蓮の花が、水のなかに沈みながらも微かに揺れています。

2021.7.15

問われる、長引く

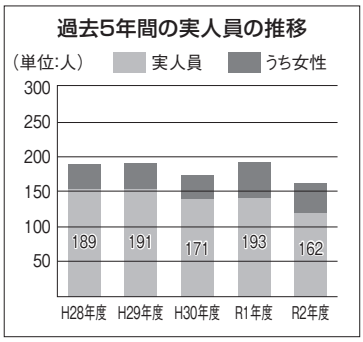
2021（令和2）年度（2020.4～2021.3）事業成績報告

利用者を受入れて支援する継続保護事業の実人員

令和２年５月、別館女性居室棟が完成し、長年の懸案であった１室に女性利用者２人居住を解消しました。これによって女性定員は６人増えて 13 人となりました。また、男性定員 32 人と合わせ計 45 人となりました。しかしながら、令和２年度中に宿泊した利用者は前年同期に比べ 31 人減の 162 人、うち女性９人減の 42 人でした。その背景には、新型コロナウィルス感染拡大防止に配意し過密を避けたこと、及び中堅職員退職の影響により、利用者受入れが消極的になったことにあります。

単位：人

区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
実人員	189	191	171	193	162
うち女性	42	43	37	51	42

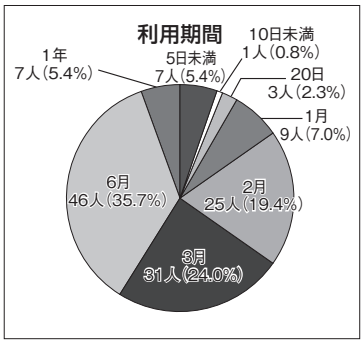


利用期間

利用者は、２月未満～６月未満で退所する人が 79.1%、102 人ですが、６月未満の退所者は前年同期に比べ 14 人増え 46 人でした。１月未満で退所した人は 20 人、前年同期に比べ５人減りました。

単位：人

区分	5日未満	10日未満	20日	1月	2月	3月	6月	1年	2年	3年	3年以上	合計
実人員	7	1	3	9	25	31	46	7	0	0	0	129
うち女性	0	1	1	3	10	8	12	0	0	0	0	35

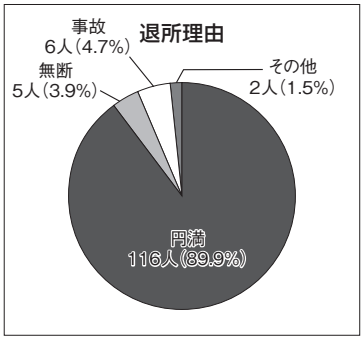


退所理由

退所理由は、事故退所した人は、前年同期と比べ３人減り６人、無断退所した人は３人減り５人でした。円満退所した人が 89.9%、116 人、前年を上回っています。

単位：人

区分	円満	勧告	無断	事故	その他	合計
実人員	116	0	5	6	2	129
うち女性	31	0	2	1	1	35

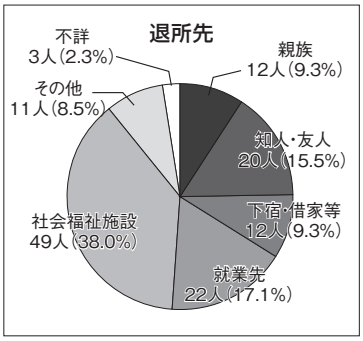


退所先（人）

退所先では、38.0%、49 人が社会福祉施設等に分類される生活保護受給を希望して退所した人です。前年同期は 37.7%、60 人で、比率においては前年同期とほぼ同じでした。就業先への退所者は 22 人、前年同期に比べ 10 人増えています。

単位：人

区分	親族	知人･友人	下宿･借家等	就業先	社会福祉施設	その他	不詳	合計
実人員	12	20	12	22	49	11	3	129
うち女性	6	7	3	0	14	4	1	35



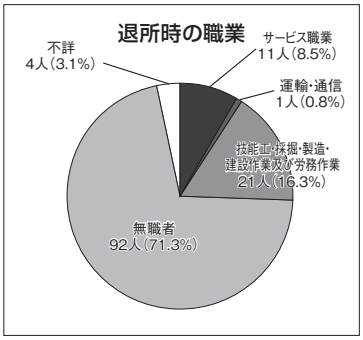
退所時の職業

無職者は 71.3%、92 人です。これは 65 歳以上の高齢者や障害のある利用者が多く、また仕事についても退所時には離職して転居に備えている人も含まれているためです。

単位：人

区分	専門的･技術的職業	管理的職業	事務	販売	サービス職業	保安職業
実人員	0	0	0	0	11	0
うち女性	0	0	0	0	4	0

区分	農林･漁業	運輸･通信	技能工･採掘･製造･建設作業及び労務作業	無職	不詳	合計
実人員	0	1	21	92	4	129
うち女性	0	0	6	23	2	35



コロナ禍に対応した施設運営

2020（令和2）年度　連結収支決算報告

収入 1億6,866万円　支出 1億8,388万円　繰越金 △1,522万円

連結収支においては、収入総額は1億6,866万円でしたが、支出総額が1億8,388万円で、1,522万円の赤字となりました。それでもウィズ広島の財務体質はなお安定しています。

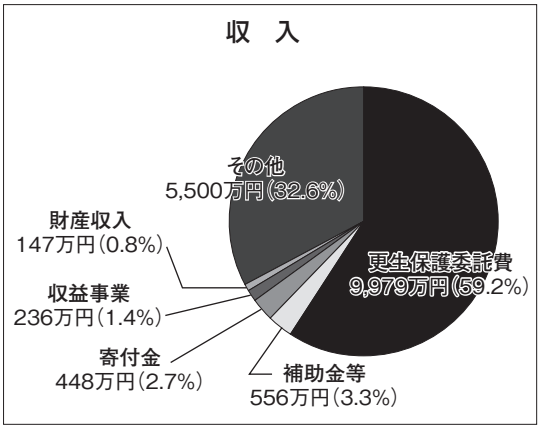
□収　入

収入総額は、別館女性居室棟建設助成金等もあって、前年同期に比べ43.9%、5,144 万円増となり 1 億 6,866 万円でした。ただ、事業収入である更生保護委託費収入が前年同期に比べ 8.2%、891 万円の減でした。この背景には、前述した中堅職員の退職、新型コロナウィルス感染拡大防止で過密化を避けるため受入れが消極的になったことがあります。次年度以降の利用者の受入れを積極的に推進していく必要を感じています。

単位：万円

科目	更生保護委託費	補助金等	寄付金	収益事業	財産収入	その他	合計
金額	9,979	556	448	236	147	5,500	16,866

その他：一般・特別会計繰入金等



□支　出

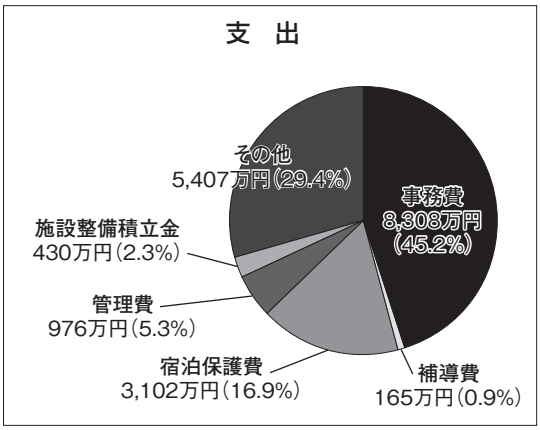
支出総額は、前年同期に比べ 57.1%、6,682 万円増となり 1 億 8,388 万円でした。支出が増えた原因としては、別館女性居室棟増築により減価償却費が増えたことや同居室棟関連の追加工事、有価証券の売却損等がありました。

固定資産となる基本財産は、別館女性居室棟完成に伴い、30.5%、1 億 6,315 万円増えました。一方、流動資産の預金、有価証券は減り、流動資産の合計は前年度に引続いて下落しています。

単位：万円

科目	事務費	補導費	宿泊保護費	管理費	施設整備積立金	その他	合計
金額	8,308	165	3,102	976	430	5,407	18,388

その他：一般・特別会計繰入金支出等



退所した人をフォローアップ支援する一時保護事業の成績

コロナ禍の影響を受け、フォローアップ支援の実人員は 150 人でした。前年同期に比べ 20.2%、38 人減となりました。一方、2020（令和 2）年 3 月から始まった、休眠預金の助成を受けた退所者フォローアップ支援事業は、その内容、方法は進化し、来所相談、電話手紙による安否確認、カウンセリング、カフェ等充実しました。

賃貸駐車場、太陽光発電供給する収益事業の成績

別館女性居室棟も完成して事業休止していた駐車場利用者が戻ってきました。また電力供給収入は月平均約 5 万 2700 円と、順調です。

ボランティアカウンセラーが語る。ウィズ広島の利用者や退所者の姿

1996(平成8) 年8月から、ボランティアカウンセラーによるカウンセリングを取り入れ、利用者や退所者の心理生活相談を行っています。3人のボランティアカウンセラーカウンセラーから手記をよせていただきました。

カウンセリングを通して願うこと

塩 谷 亜 子

昨年夏から、ウイズ広島においてカウンセリングを担当させていただいています。

私が常に心掛けていることは、話に耳を傾け頷くだけでなく、会話のキャッチボールでリラックスしてもらうことです。私のカウンセリングには「アドバイス」が小さく付いています。こうしてみたら?と助言するわけではありません。自分の思いを自分の言葉で話してもらい、そのときの私の反応や言葉なりでどうしたらよいのかを感じてもらう、そういう目に見えないアドバイスを送ることにしています。

困ったり悩みがある人は、ただ自分の置かれた状況を聞いてほしいだけの人が多いのも事実です。改善のための実行ができない理由を一生懸命考えさせてしまうより、不要な手は出さず自分で気付いてもらえるようにサポートするのが解決への近道だと考えています。

なぜ今困った状況にあるのか。それは自分の通ってきた道の結果がそこにあるからだということを会話の中で発見してもらうこと。見つけられれば自ずと次はどうすればよいか考えることができ、行動にも移せると考えます。私はその言葉を選んだ心理を読み取り、少し背中を押して「自分で発見できた」という小さな成功体験を掴めるよう、また掴んだのだということが実感できるようにしています。

ウイズ広島では、なぜこうなったのか、どうすれば良いと思うか質問することにしています。同じ位置かやや下の方から聞くのです。私にわかるように答えようとする努力は、何が違っていたのか自ら発見することに繋がっていると思うからです。カウンセラーには教科書どおりのことを話しておけばいいと感じさせず、漠然とでも答えに近づけるように導くのが私の仕事だと思っています。

チャンスを生かし、人生を再構築していける人をカウンセリングで一人でも多く送り出せるお手伝いが出来ればと願っています。

邂逅に始まるカウンセリング

村 上 正 人

平成29年4月より、ボランティアとしてウィズ広島に入らせてもらうようになって4年余りになります。この間、67名の利用者および退所者に対し、延べ466回(令和3年6月末現在) の対話をさせて頂きました。

対話はいわば邂逅(偶然の出会い)に始まります。初回は予備知識のないまま、その人の話し方、所作に神経を集中させながら、ひととなりやどのような人生を過ごしてこられたのかを吸収することに努めます。2回目以降は保護簿等を参考に、躓いてきた点について寄り添う対話を行うよう心掛けています。

実際の対話に際する心得として、ウィズ広島を訪れる以前、精神対話士として活動した時期があります。ある先輩に「我々は心理学、精神医学、看護学、死生学、宗教学、教育学などの基礎を学んできたが、一番大切なのは話題の引出しを数多くもつこと。そのことによって相談者の話をより広く、深く受けとめることができる」と教えてもらいました。そのお蔭で、私は対話の中で、その人のよくない部分よりも、むしろ得意分野等よい部分を注目するようになりました。この点において、補導員であるウィズ広島職員のみなさまとは違った接し方になっていると思います。

もうひとつ気を付けているのは、相手の言葉をそのまま受け入れること。たとえ偽りや矛盾があったとしても、それを追及するのではなく、その人のこれからの人生を考える上で、自ら気づくことに重点を置きたいと思っているからです。もちろんすべて肯定するわけではなく、気づいてもえるよう私も努力します。自由な環境では、人は自ら気づき、決定した行動でないと続けることができないと思うからです。これはカール・ロジャーズの相談者中心療法の考え方を基礎としています。しかしながら、振り返ればうまくいかなかったケースもあります。残念ながら再犯をしてしまった人もいます。それでも「失敗した」とは思いません。その人に対しては、次回はうまくいってほしいと願うばかりです。

最後に、私自身はウィズ広島におけるカウンセリングは治療という位置づけではないと考えています。相談者の心の中に縺れたまま存在する悩みや不安、解消できない依存性向などを正直に吐き出すことのできる相手になれればと考えます。そのことで気持ちが楽になり、多少とも今後の人生を今一度考えようといった前向きな気持ちが持てたとすれば、邂逅には意味があったと思えるからです。

「話のできる人」を目指して

横 山 和 洋

機会あってウイズ広島で生活している方、あるいは同所を退所した方、多くは仮釈放になった方々とお話をする時間を持っている。月に2回程度、1回当たり2、3人の方とお話をしている。

お話をする依頼のあった時、その目的は、ウイズ広島を退所する人又は退所した人のフォローアップの一つとして話を聴く時間を持ってもらえばよいというものだったと思う。カウンセリングについての多くの知識や経験もなく、どんな話をすればよいのか全くイメージは湧かなかったが、仮釈放になった方々と話すということに少しばかり興味をひかれ、ボランティアということもあって引き受けた。

一人当たり1時間弱対面して話すことが多いが、総じて、皆さんよく話される。そして、明るい。努めてそうされているのかもしれないと思ってしまうほど明るい。ある方について差し支えないと思われる範囲で、紹介してみよう。

初めてお会いしてから約半年余りが経過し、お話しした回数も10回を超える。お会いしてしばらくの間は、健康のこと、趣味のことなど当たり障りのない話題が多かったように記憶しているが、ここ数か月は、事件の時の心情、覚えていることなどを毎回のようにポツポツと話し出されるようになってきている。前回のことだが、一人暮らしを始めて半年たった、その間よくここ(ウイズ広島) に来ているということだが、今どんなことに気を付けて生活しているのかと尋ねた。答えは、「部屋の中でじっとしていることが多い。出かけるのは、2週間に1度の通院、そして週に1回ぐらいウイズ広島」、「アパートの世話をしてもらった不動産屋さんの人、ずっと世話になっているウイズ広島の人など、周りにいる人たちは皆いい人で、今度こそその人たちを裏切ることはできないと思っている」とのこと。手ごたえを感じさせてもらえる答えだった。

最近、保護関係者の方が書かれたものを目にした。「出所後の自立には「話や相談のできる人」「地域において心を支えてくれる存在」がほしいという声が受刑者から聞かれる」という一文であった。これにも力づけられた。

実際のところ私自身は、ウイズ広島に足を向けるたびに、今日話をするのはどんな人なのだろう？ 何の話をすればよいのだろう？ などと不安にかられるばかりだが、私にできる支援を行っていきたいと思う。

1人の利用者の死をめぐって

入所して3年目を迎えていたAさん(86歳) が、6月7日、緊急入院先の病院で誤嚥性肺炎のため急死されました。故郷に帰ることを夢見ていたのに、私たちの力が及ばず、果たすことができませんでした。

この3年間、Aさんの願いを叶えるため、関係する人々で話し合いをしてきました。しかしながら、彼の受け入れ先が難渋を示し、調整はあまり進みませんでした。

長期刑として刑事施設を仮釈放となり、再犯の虞はなく、そしてひたすら帰郷を望むAさんのような人には、どのような支援ができるのか、更生保護施設の在り様が問われていると思います。

人 事 異 動

評議員の異動

(退任) 慶徳こずえ評議員は、令和3年6月11日、任期満了で退任されました。氏は平成10年5月、評議員に就任され、以後評議員としてウィズ広島の経営の安定化に多大なご尽力をいただきました。誠にありがとうございました。また、手作りの美味しい草団子をいただきました。感謝です。

新宅典明評議員は、このたび一身上の都合により辞任の申し出があり慰留に努めましたが辞意固く、令和3年6月11日任期満了で退任されました。氏は、平成27年6月に評議員に就任され、以後評議員として積極的に意見具申されるなどウィズ広島の安定経営に多大な貢献を続けてこられました。誠にありがとうございました。

(新任) 令和3年6月12日、加川順一氏 (会社経営・保護司)、金剛丸雅子氏 (会社役員・安佐南地区更生保護女性会長) が評議員に就任されました。今後よろしくお願いいたします。

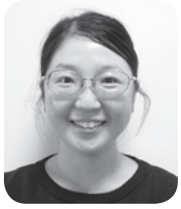
職員の異動

(退職) 事務主任：玉井信子 (3月31日付)　事務員：中村友貴 (6月30日付)

新 人 職 員 の 紹 介

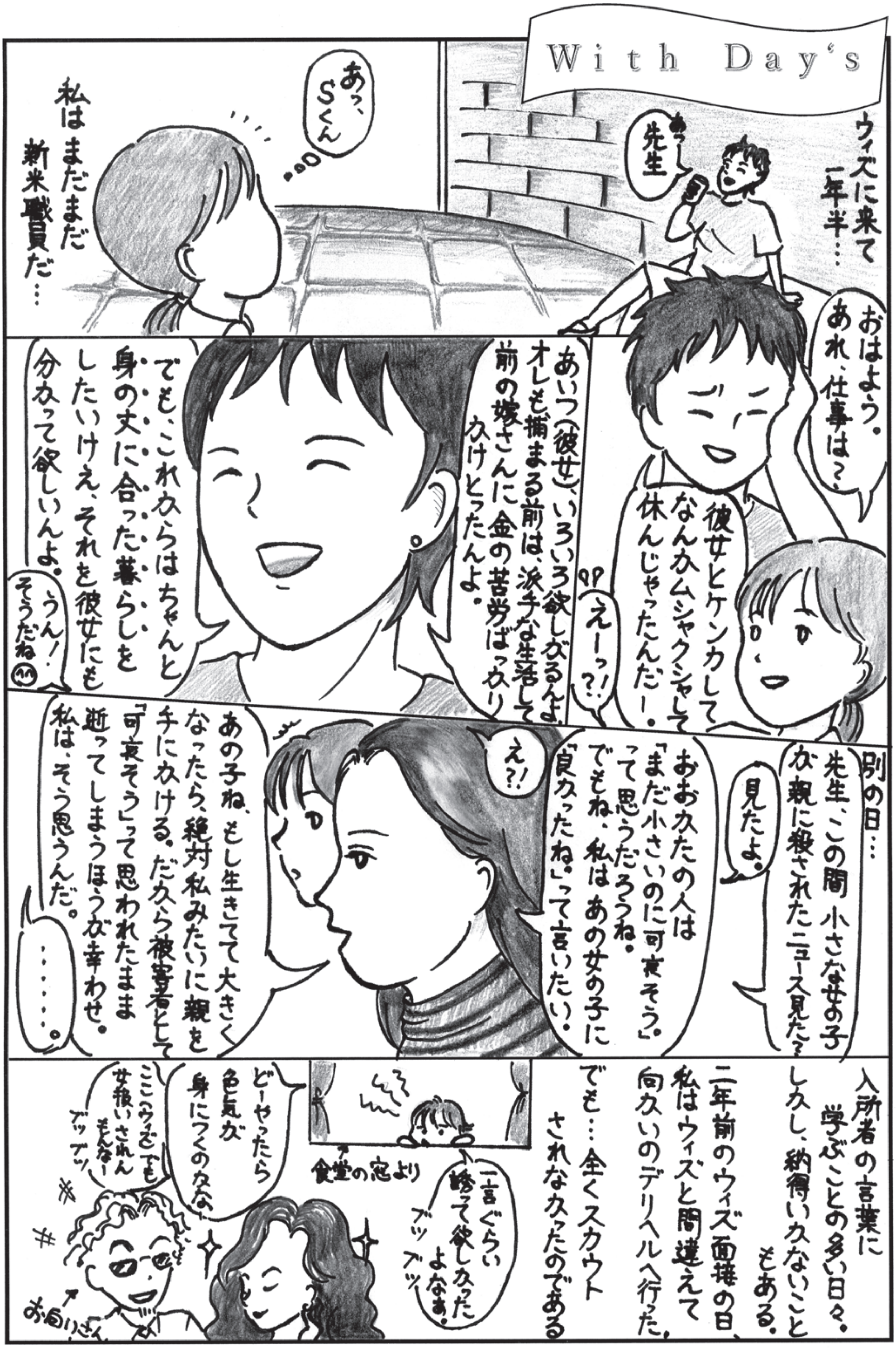
中村　　恵さん
事務員：4月1日付

更生保護に関わるすべてのことに、笑顔を忘れずに精一杯させていただきたいと思います。よろしくお願いします。



吉野真由美さん
事務員：7月1日付

まずは基本を早く覚え、「きれいに素早く落ち着いて」をモットーに頼られる事務員を目指し頑張ります。


With Day's
ウィズに来て一年半…
あっ 先生
あっ、Sくん
私はまだまだ新米職員だ…
おはよう。あれ、仕事は？
彼女とケンカしてなんかムシャクシャして休んじゃったんだー。
えーっ？！
あいつ(彼女)、いろいろ欲しがるんよ。オレも捕まる前は、派手な生活して前の嫁さんに金の苦労ばっかりかけとったんよ。
でも、これからはちゃんと身の丈に合った暮らしをしたいけえ、それを彼女にも分かって欲しいんよ。
うん！そうだね(^^)
別の日…
先生、この間小さな女の子が親に殺されたニュース見た？
見たよ。
おおかたの人は「まだ小さいのに可哀そう」って思うだろうね。でもね、私はあの女の子に「良かったね」って言いたい。
え？！
あの子ね、もし生きてて大きくなったら、絶対私みたいに親を手にかける。だから被害者として「可哀そう」って思われたまま逝ってしまうほうが幸わせ。私は、そう思うんだ。
……。
入所者の言葉に学ぶことの多い日々。しかし、納得いかないこともある。
二年前のウィズ面接の日、私はウィズと間違えて向かいのデリヘルへ行った。
でも…全くスカウトされなかったのである
一言ぐらい誘って欲しかったよなあ。
ブツブツ
食堂の窓より
どーやったら色気が身につくのかなー
ここ(ウィズ)でも女扱いされんもんなー
ブツブツ
お向いさん

寄付で振り返るウィズ広島

2021年（令和3）年1月1日から7月31日までに、皆さまからお預かりしたご寄付は次の通りです。（敬称略）

1月

匿名：文庫本11冊、（株）ハローズ海田市駅前店：そば10袋、春雨2袋、パプリカ3個、ヨーグルト2パック、バナナ9房、ホットケーキミックス120袋、もち250個等、平口さとみ：節分豆袋チョコ2袋、広島県地域定着支援センター：米30kg、ポロシャツ5枚、ズボン5着、靴下5足、ストッキング24足等、（株）フレスタ吉島店：米2kg、ごま油、菓子2袋、カットトマト2パック等、更生保護施設等支援協議会　藤本晴男：チョコレート24個、景品12個、塩谷亜子：作業着上下1組、トレーナー1枚、土井壽美子：節分のお菓子3食、安佐北地区更生保護女性会：給食材料（**写真①**）、（株）ハローズ海田市駅前店：バナナ9kg、ホットケーキ粉60袋、キウイ7個等、厚生労働省：布製マスク1,000枚

2月

幟建末子：マフラー12枚、更生保護施設等支援協議会　藤本晴男：カレールー6箱、うどん2袋、ラーメン2袋、サラダ油11本、さばのみそ煮缶24個等、（株）ハローズ海田市駅前店：みかん1袋、イチゴ1パック、人参1袋、野菜ミックス2つ、焼き鳥缶6個、チョコレート3つ、最中4個、1合米2袋等（**写真②**）、木本正志：アイスクリーム1箱、井町重遠：はっさく2袋、（株）フレスタ吉島店：コンソメ2箱、ブラックペッパー2個、ガス3本、トマト缶1つ、パスタ1袋等、（株）フレスタ舟入店：もちとり粉10袋、三温糖18袋、更生保護施設等支援協議会 藤本晴男：米4kg1袋、米5kg1袋、パン粉1kg2袋、アルファ米45袋、土井壽美子：母恵夢5個、菓子3個、花1束、広島安芸地区更生保護女性会：給食材料（**写真③**）、佐々木美知子：里芋、大根、しいたけ、スイートポテト等、山本隆照：女性上着5着、ズボン3枚、（株）ハローズ海田市駅前店：サラダ菜、バナナ13房、大葉、シメジ、マイタケ、橋本則子：男性肌着2枚、カッターシャツ12枚、スーツ上下1着、スーツ上着7着、スーツズボン12着、ジャンパー4着、広島県地域定着支援センター：女性上着12着、女性ズボン17着、下着1枚、化粧下地10個、カバン3個、靴下12足、木本正志：アイスクリーム1箱、平口さとみ：みかん8kg、飴2袋、繁政秀子：ハンガー28本、佐藤丈倫：おはぎ48個、のど飴2袋、（株）ハローズ海田市駅前店：コーヒー7個、バナナ11房、アボカド3個、ラーメン10個、チョコレート4袋等、土井壽美子：お茶菓子5個、（株）フレスタ吉島店・舟入店：トートバック9袋、豆腐3丁、ジュース9個等

安佐北地区更生保護女性会の給食活動　メニューは芋ご飯、鳥の照り焼き、春雨サラダ、粕汁等

（株）ハローズ海田市駅前店からたくさんのロスフード支援

広島安芸地区更生保護女性会の給食活動　メニューは稲荷、ヒレカツ、海老フライ、豚汁等

広島佐伯地区更生保護女性会の給食活動　メニューはとんかつ、中華風和え物、豚汁等

本当に必要な支援が

3月

広陵西組仏教婦人会連盟：10万円、広島佐伯地区更生保護女性会：給食材料（**写真④**）、（株）ハローズ海田市駅前店：ピザ6枚、あられ4袋、鮭瓶2個、シイタケ5パック、バナナ3房、かりんとう類15袋、ミックス野菜11袋、食パン、トマト、人参、りんご、キャベツ、ツナ缶7個、焼き鳥缶10個、ミックスナッツ3袋、ウェットティッシュ4個、米6パック、社会福祉法人恩賜財団済生会広島病院：ワンピース2枚、シャツ9枚、ズボン5枚、スカート2枚、シャツ3枚、セーター3枚等、多山順一：皿7枚、鍋2つ、フライパン、木皿2枚、花びん、皿15枚、盆3枚、鍋敷き2枚、銅ちゅう皿、ガラスコップ12個、調理道具20個、アイロン、ミシン、傘9本、エコバック、鉛筆23本等、匿名:女性用ズボン7着、Tシャツ25枚等

4月

佐藤丈倫：法則5冊、茶筅3本、茶さじ3本、さくら餅60個等、（株）ハローズ海田市駅前店：アメリカンドッグ、納豆、つくだ煮、プリン、牛乳、バナナ5房、アボガド8つ、野菜セット6つ等、匿名：5本指靴下3足等、匿名：Gジャンパー、Gパン、中地区更生保護女性会：給食材料（**写真⑤**）、岸本三悦子：たけのこ、スイートコーン、そのまま酢、バター、牛乳、マヨネーズ、（株）フレスタ舟入店：レトルトおかず6つ、レトルトご飯5パック、もやしのタレ6本、飴1袋等、（株）フレスタ吉島店：麻婆なすの素、お茶、お菓子6つ、鶏がらスープ等（**写真⑥**）、土井壽美子：和菓子20個、きんつば10個、多山順一：ファイル44個、フォトブック6冊、マジック10本、ボールペン23本、鉛筆15本、電気ストーブ、爪切り3個、ハサミ5本、お香1つ、一筆箋25冊、封筒4セット、（株）ハローズ海田市駅前店：シメジ4パック、バナナ8房、キャベツ4玉、野菜セット7パック、段ボール等、谷口貴美子：靴3足、鏡、ティッシュケース3つ、女性服108着、キャリーバッグ3個等

5月

平口さとみ：せんべい5袋、飴3袋、玉子20個、広島県更生保護女性連盟：行楽弁当31個、柏餅各31個（**写真⑦**）、畠山昭雄：1万円、（株）ハローズ海田市駅前店：野菜セット4パック、春雨スープ2袋、煎餅1袋、カイロ40個、ツナ缶8個、チョコレート12kg3箱、（株）フレスタ吉島店:塩ラーメン、麻婆なす、シーチキン等、（株）フレスタ舟入店：キーマカレー、パスタ、カップ麺、はちみつゆず2つ、コーン缶3個、粉豆腐4つ、ぜんざい7個、回鍋肉2つ、カレー、チョコレート2つ、米5kg2袋、強力粉1kg30袋、森兼肇（紹介者：稲村美智子）：米30kg 12袋（**写真⑧**）、多山順一：皿79枚、はし・スプーン・フォーク35本、布団カバー3枚、ハンカチ50枚、ズボン7本、マフラー6枚、シャープペンセット、匿名：七味唐辛子5個、東地区更生保護

中地区更生保護女性会の給食活動　メニューは筍ご飯、クリームシチュー、エビフライ卵サラダ等

（株）フレスタ吉島店及び舟入店からたくさんのロスフード支援

端午の節句、広島県更生保護女性連盟から恒例の差し入れ（行楽弁当と柏餅）、来所されたのは幟建会長と山田・西副会長

届く、皆さまのご寄付

女性会：弁当34個、カップ麺40個、ポカリスウェット48本、（株）ハローズ海田市駅前店:トマト9つ、白菜13個、キュウリ4本、春菊4束等、一般財団法人多山報恩会：100万円、匿名：本16冊、菓子20袋、マスク10枚、更生保護施設等支援協議会 藤本晴男：チョコレート26個、ペーパー15枚、みかん缶3個、パイン缶2個、カフェオレスティック1箱等

6月

嘉屋進:1万円、匿名:500円、匿名:3,000円、匿名：800円、パン・ドーナッツ、匿名:ピザサンド、佐藤丈倫:ろうそく1箱、（株）ハローズ海田市駅前店：キャベツ9玉、分葱13束、みつば3束、キュウリ3本、ベビーリーフ4パック等、多山順一：タオル92枚、歯ブラシ17本、皿12枚、コップ10個、櫛14本（**写真⑨**）、匿名：2,000円、貫名徹：タオル2枚、ノート16冊、雑巾10枚、ボウル6つ、井町重遠：饅頭、煎餅、婦人傘3本、（株）フレスタ吉島店:チョコレート、シスコーン、（株）フレスタ舟入店:デミグラスソース、ホワイトソース、グラノーラ、紅茶、サバ缶、田中博敏：デジタルカメラ、（株）ハローズ海田市駅前店：バナナ10房、万能野菜3つ、春雨スープ2つ等、浜本道行:リポビタンD、木本正志:アイスクリーム40個

7月

木本製菓：アイスクリーム40本、広島紅葉ライオンズクラブ：洗剤4個、肌着4枚、バスタオル4枚、フェイスタオル24枚、ハンカチ33枚、ボディソープ2本等（**写真⑩**）、ハローズ海田市駅前店：飲むヨーグルト、アーモンド2本、マイケーキ2つ、白菜ぬか漬け、納豆2パック、油揚げ6枚、匿名：湿布7枚入り5袋、雪の宿、キンカンのど飴2袋、藤原薩子:かぼちゃ4個、西地区更生保護女性会：給食材料（**写真⑪**）、（株）フレスタ吉島店：レモン風味ラスク、リプトンティーバッグ、AGFレギュラーコーヒー、さとうきび砂糖、（株）フレスタ舟入店：キッチンペーパー2箱、カットトマト、黒ゴミ袋等、佐藤丈倫：わらび餅1kg、土井壽美子：きんつば15個、栗饅頭15個、更生保護施設等支援協議会　藤本晴男：カニカマ80個、ソーダ1ℓ24本、非常食きのこご飯100個、削り節、ひるぜん焼きそば、ゆかり、カレールー3箱、カレー焼きそば5つ、レトルトご飯13個、ラップ、砂糖、コーンクリーム、ティッシュ18箱、プレート6枚、ツナ缶14個、イワシ缶4個、サバ缶2個、ホワイトソース、黄桃缶2個、バケツ、（株）ハローズ海田市駅前店：牛乳2パック、キムチ5袋、しそ天、チーズ巻、ピザ、ピルクル12個、ピザ生地5枚、油揚げ2枚、キャベツ5玉、レタス10玉、ブドウ3房、シイタケ7パック、木山元子：豆、キュウリ14本、ナス10本、ラッキョウ1瓶、じゃがいも37個、玉ねぎ26個、井町重遠：プラスチックかご3個、木本正志：アイスクリーム1箱、更生保護法人広島県更生保護協会：82万5,000円、匿名：自転車1台

⑧

美味しい酒米30kgを12袋、森兼肇（紹介者：稲村美智子さん）さんからいただく（写真は一部）

⑨

多山順一さんから、たくさんの日用品の差し入れ

⑩

広島紅葉ライオンズから恒例のご寄付。たくさんの日用品のほかに衣類もご寄付

⑪

西地区更生保護女性会の給食活動　メニューはステーキ、ポテトサラダ、ラタトゥイユ等

あきらめを希望に変える、皆さまの支援

2020(令和2) 年度会員 **159**会員　　会費収入 **165**万**6,000**円

ウィズ広島への寄付 **140**万円　　2021(令和3) 年3月31日現在

2021(令和3) 年3月31日現在の会員は159会員、うち個人会員は88会員、保護司会23会員、更生保護女性会23会員、企業・法人会員25会員です。今年1月1日から7月31日までに会費をお預かりした方々は次のとおりです。

ウィズ広島賛助会会長　**迫谷　富三**

「心」は形として見ることは不可能ですが、私にはS先生の真心が見えます。あのTelから聞こえてくる先生の100万ドルの笑顔と笑い声が私の栄養剤となり元気が続くのです。先生ホンマに有難うございます。希望がわいて来ます。自身の情けなさに何度も涙を流した日多々ありましたが、その度に人の悲しみと痛みが分かるような気がします。

（退所者よりフォローアップ支援員への手紙から）

【個人会員】

佐伯　穣、西田文子、菅　和美、間所　了、木原正壽、林　千秋、井町重遠、嘉屋　進、畠山昭雄、山田勘一、曽川恵二

【更生保護女性会・保護司会会員】

廿日市地区更生保護女性会、安芸高田地区更生保護女性会、中地区更生保護女性会、大竹地区保護司会、三原地区保護司会、安芸地区保護司会、安芸地区更生保護女性会、福山地区更生保護協会、福山地区保護司会、中地区保護司会

【企業】

㈱山工

■ウィズ広島役員等

【理事】山田勘一（理事長）、山田一夫（副理事長）、畠山昭雄（常務理事）、嘉屋　進（常務理事）、幟建末子、中島和雄、和泉　眞、林　千秋、古屋由利子、髙木一之、八崎則男
【監事】柳原芳樹、坂吉英利
【評議員】木本正志、井町重遠、山本隆照、繁政秀子、平口さとみ、楠本次子、大野宣江、西田志都枝、内海幸一、石森雄一郎、岸本三悦子、加用雅愛、曽川恵二、宇恵一枝、金剛丸雅子、加川順一
【顧問】浅尾宰正
【参与】永田雅紀

■ウィズ広島職員

【施設長】稲垣　宏
【補導主任】竹岡靖宏
【補導員】田中博敏、沖村和夫、神田修悦、三笘公明
【福祉専門員】岡本進佑、川岡　心、浅枝　恵
【薬物専門員】髙杉敬一、田坂典子
【非常勤退所者フォローアップ支援員】白倉弘子
【事務員】中村　恵、吉野真由美
【調理主任】吉和栄枝
【調理員】江藤民子
【非常勤調理員】吉和真奈美

■ウィズ広島賛助会役員

【会長】迫谷富三　**【副会長】**林　千秋、反田哲顕　**【理事】**先小山英夫、宇恵一枝、深堀　勝、曽川恵二
【監事】堀江洋治、山本隆照

以　上